

農繁期 レポート

令和3年 8月号

バードライフファーム

オーナー	(一般)バードライフ・インターナショナル東京
水田面積	25.0アール
保証量	玄米1125kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者 米風土鳥取の皆さん

8月は近年ない長い大雨となりました。こんな天気は今まで知らず、驚いています。幸い、稲の花が咲く時期をぎりぎり過ぎていたので実はちゃんと入りそうです。無事稲刈りができますよう残り1か月、晴天を祈るばかりです。

8月の作業内容

1.カメムシ防除

穂がでた出穂期にカメムシは田んぼに飛んできます。防除は全体の7-8割が出穂した時と出穂後10日頃の最低2回行います。籾が水分状態のときにカメムシは針を刺して汁を吸ってしまい、吸われるとお米に黒く斑点ができてしまいます。



2.光合成と生育状況チェック

出穂後の晴天は重要で開花後、光合成によりデンプンを生産しお米になります。昼間作ったデンプンを夜稲に送り込むのですが、夜間の気温が高いとデンプンを消費するため、夜間の気温が低い方が美味しいお米ができると言われています。



3.機械点検

9月から稲刈りが始まります。その前に使用する機械の点検を8月中に行います。コンバイン、籾摺り機、乾燥機など、多種ありきちんと作動しないと全ての業務が止まってしまいます。入念に行い、来る稲刈りに備えます。



稲の花

稲の花はなかなか見ることができません。大体11時~13時頃の2時間程度に見せてくれます。花びらはなく、中から6本のおしべが出て、めしべに付いた花粉と受精をすると閉じてしまい、もう開くことはないのでも貴重です。

